

あいさつ



新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、大瀬地内で発生した大規模な地滑りによる国道287号の全面通行止め、そして2年連続の豪雨災害により大きな影響を受けた当町であります

が、着実に復旧、復興に向けた対応を図ってまいりますので、引き続き、安全・安心の確保にご理解、ご協力をお願いいたします。

今年の干支の未は、温厚で群れをなすところから安泰を表すとされ、いつまでも平和に暮らすことを意味しているとも言われます。そして今年には終戦から70年という節目の年に当たります。この1年が日本、そして世界の人々にとって平和で幸せな年になることを願っております。

「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」をめざした、第5次白鷹町総合計画の後期基本計画がスタートする今年、前期の計画を踏まえ、「人づくり」を基本に「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」に「防災」を加えた4つの柱で、さらなる町政発展に向けたまちづくりを進めてまいります。

国は、少子化、人口減少の中、地方に「しごと」をつくり「ひと」を呼び「まち」が活力を取り戻すことをめざした「地方創生」の長期ビジョン・総合戦略を昨年の暮れに発表しました。これから真の地方創生に向け、各自治体の意気込みが問われてまいります。本町においても、後期基本計画に沿って白鷹町版総合戦略を取りまとめ、少子化対策、都市からの移住政策を実行に移し、町民の皆様と共に共創の理念のもと、職員一同、この人口減少社会に気概をもって果敢に立ち向かってまいります。

特に、地方創生元年の今年、地区公民館をコミュニティセンターに移行します。これまで各地域において熱心にご議論をいただき感謝申し上げますとともに、それぞれが特色を活かし魅力ある新しい地域づくりが動き出すものとご期待しております。

結びに、町外、県外でご活躍されている町関係の皆様のごさらなるご活躍と、町民の皆様にとりまして良い年でありますよう心よりご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

白鷹町長 佐藤 誠 七